

長崎県体育協会体育功労者表彰

日置

幸長さん ゆきなが

(御厨・泉、78)



松浦市内の各陸上競技大会では、審判長として活躍されるとともに、小中学校の陸上競技指導者として技術力向上および競技の普及においても、中心的な存在として尽力されました。

また、北松浦陸上競技協会会長、松浦市陸上競技協会理事を長年務められたほか、県下一周駅伝大会の北松・松浦チームの監督としても活躍され、市内および県北地域のスポーツ振興に大きく貢献されています。

平成25年度NPO活動奨励賞 (公益財団法人県民ボランティア振興基金表彰)

城山をきれいにする会

(星鹿町)



▲ (左) 辻代表と (右) 津崎会員

城山(星鹿町・刈萱城跡)の自然環境を保全・増進し、地域の安らぎの場所づくりを目指して活動されています。

環境美化活動にとどまらず、カーブミラー・掲示板・ベンチなどの設置をしたり、城山への親しみと愛着心を育てるために、地域の高齢者や子どもたちと共同で灯籠を手作りし、城山をライトアップしたり、地域ぐるみの桜の植樹会の開催にも取り組まれています。

わたしたちの郷土

— 95巻 —

中世の松浦(61) 鷹島海底遺跡

昨年、鷹島海底遺跡出土の遺物である鉄製品を九州国立博物館でX線CT調査をした結果、新たな発見がありました。平成14年度の神崎港改修工事に伴う緊急調査で出土していた用途不明の鉄製品(横8・7寸、縦6寸)が「火打ち金」であることが分析の結果分かりました。

この火打ち金は、東ヨーロッパやシベリア、極東ロシアなど広範囲に分布していますが、日本では7世紀後半から8世紀初頭に確認されており、平安時代には、出土量の増加がうかがえます。この火打ち金は極東ロシアで出土した12世紀から13世紀の火打ち金と類似しており、専門家は、モンゴル帝国時代のユーラシアの文化交流を示す貴重な発見であると指摘しています。また、鷹島海底遺跡出土の遺物は、日本の研究者だけでは分からないことが多いため、今後は、中国・モンゴルとの国際研究が必要だと指摘されています。

火打ち金は昔の人々にとっては、食事を作ったり、生活する上で欠かすことのできない大切なものです。火打ち金と火打ち石(石英・チャート)を打ち付けて火花を飛ばして火種を得ます。火花は、火打ち石によって鋼でできた火打ち金がちぎれて、急激な運動エネルギーが熱エネルギーへと変わることによって生じるものです。



▲ 錆に覆われた火打ち金



▲ X線CTの画像

Hello, Matsuura City! - 松浦市の皆さんこんにちは! -



ブレンダン・ピアス
Brendan Pierce
アメリカ出身

こんにちは、ブレンダンです。私が松浦に来て5カ月が経ちました。今までの松浦での経験は素晴らしいです。おかげで私も日本での生活にだいぶ慣れてきました。松浦の皆さんは私をととても歓迎してくれて、本当に感謝しています。これからもたくさんの人々と出会いたいと思っています。

学校では、調川中、今福中、鷹島中、上志佐小、福島小の先生たちや児童・生徒の皆さんとも知り合いになりました。これらの学校で教えることにととてもやりがいを感じています。私はいつも英語を教えることに熱心ですが、子どもたちには英語ばかりではなく、全ての科目に熱心に取り組んで欲しいと思っています。児童・生徒や先生たちは、私に日本の文化について多くの事を教えてくれます。

また、私が余暇を使って取り組んでいるのが太鼓です。火曜日と木曜日は学校が終わると市役所に行って、松浦龍王太鼓の皆さんと太鼓を練習しています。初日からメンバーの皆さんは心を開いて、私をととても歓迎してくれて、太鼓や日本での生活についていろいろ教えてくださいました。彼らとの会話から日本語を学ぶことも面白いです。日本とアメリカの生活の違いについて比較したり、笑ったりすることがとても楽しいです。文化交流という点からも私は松浦龍王太鼓の一員になれてとても光栄に思っています。

今年も学校と太鼓を頑張りたいと思います。皆さん、今年もよろしくお願いします!



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『足元の小宇宙 82歳の植物生態写真家が見つめる生命』
埴沙爾/NHK出版

ため息の出るような美しい写真。添えられた言葉で植物の生態を知ると、小さな植物にもドラマがあり力強く生きていることに驚かされます。これまで目に入っているけれど見えていなかった庭や道端の草木。読後には見慣れた風景が違って見えることでしょう。



『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。マララ・ユスフザイさんの国連演説から考える』
マララ・ユスフザイ 述
石井光太 文/ポプラ社

教育を受ける権利を主張したマララ・ユスフザイさんが銃撃されました。彼女の国連演説から学校へ行く意味を考えます。世界には学校へ行きたくても行けない子どもたちが大勢います。ご家族でなぜ学ぶのか考えるきっかけに。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



志佐町高野免の和田由佳さんと望生ちゃん(9歳)と愛生ちゃん(6歳)と礼生ちゃん(4歳)

【お気に入りの本】

- 『わくわく数の世界の冒険』 桜井進/さく 日本図書センター
- 『ジャッキーのおせんたく』 あいはらひろゆき/さく ブロンズ新社
- 『ジャッキーのいもうと』 あいはらひろゆき/さく ブロンズ新社

【お母さんからひとこと】

私自身子どものご母がよく図書館に連れて行ってくれました。そのおかげで自然と本が好きになりよく読むようになりました。子どもたちにも本にたくさん触れてほしいと思い図書館へ連れて来るようになりました。いつも騒がしい子どもたちを温かく迎えていただき感謝しています。おかげで本と図書館が大好きな子たちになりました

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしております!